



いとう 神戸市会議員

伊藤めぐみ

こうべ未来市会議員団ニュース

2023年秋 35号

編集・発行

こうべ未来市会議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1
TEL 078-322-5844 FAX 078-322-6161

「こどもがまんなかの神戸へ!!」

こどもの視点で神戸市の課題に取り組んでいくために
こどもにとって一番の利益を考え
こどもと家庭のための支援を拡げて
こどもたちから意見を聴き 神戸のこどもたちの幸せを願って
伊藤めぐみは取り組んでいます!



プロフィール

1969年4月27日生まれ 酉(とり)年・牡牛座・A型
父は、元神戸市会議員 田中健造

●谷上幼稚園、谷上小学校 ●山田中学校
●夢野台高校40回生 ●ノートルダム清心女子大学

経歴

●神戸市立中学校教諭
●不登校支援や情報教育指導員 ●大手前大学
●2011年初当選 ●2019年2期目当選 ●2023年3期目当選

- 神戸みなとライオンズクラブ
- 北神戸軟式少年野球連盟顧問
- 菊水山登山会
- 親鸞会



R4年度

決算代表質疑

2023/9/22

Q&A



Q

不登校支援の拡充を

伊藤：児童生徒が行き詰まった時に、多様な選択肢を選べるのが大切である。登校しづらい児童生徒や保護者の思いに寄り添った早期支援と、学校内でほっとできる居場所である**校内サポートルーム**を整備し、専任の“サポートルームスタッフ”を配置することが重要だと考えるが、どうか。



2023.9.22 決算代表質疑 ▲

A

教育長：校内の居場所作りは、自分の学級に入りづらい児童生徒が校内でも安心して過ごせるよう、**校内サポートルーム**（教室以外の居場所作り）を整備している。中学校は今年度中に全校で、小学校は現在、各校の状況を把握している。場所の確保と、学習指導員や学生ボランティアの活用法も含めた人的面で工夫し今後進めていきたい。

伊藤の要望

「学びの多様化学校」（不登校特例校）も、令和7年4月の設置に向けて準備をお願いします。

9/27
スタート

不登校支援 相談センターの設置

保護者がどこへ相談すれば良いかわからず一人で悩みを抱え込むことがないように、不登校に関する総合相談窓口として「不登校支援相談センター」を開設しています。児童生徒の状況や悩みごと・困りごとを丁寧にお伺いしながら、保護者に寄り添って助言します。

電話：078-366-0123

平日
9時~17時

Q 神戸におけるパートナーシップ制度が創設

これまでの経緯

- 2022年 6月 本会議で伊藤めぐみが一般質問で質問する
 2022年 10月 福祉環境委員会で、陳情第158号「神戸市において同性パートナーシップ承認制度の創設に向けた協議を開始してください」が採択
 2023年 5月 2023年中に制度を創設すると市長答弁

伊藤：制度の創設を訴えてきた一人として、神戸市の取り組みを高く評価している。今までこの制度がなかったことで不利益を受けてきた同性パートナーと暮らしている人たちや、悩みや生きづらさを抱えている市民の方々に寄り添う制度とすることが重要である。神戸市におけるパートナーシップ制度についてどのような姿勢で取り組むのか。

A 副市長：市民に寄り添った対応を行い、同性異性などの性別に関わらず、また性的マイノリティの方も含め、互いを人生のパートナーとして尊重し合い、日常生活においても対等な立場で継続的に支え合い、欠かすことのできない関係として認め合う2人の関係を応援し、共同生活の困難さを解消できる制度として具体的に検討を進めていきたいと考えている。全ての市民の人権が尊重され、その個性や能力を発揮する機会が保障される多様性のある社会を実現する。国県などの関係機関や専門家、当事者支援団体との連携を含め、市民の理解促進や生活上の困り事などを解消できる取り組みなど、幅広い観点で取り組みを進めていきたい。

伊藤の要望

LGBTQの悩みを抱えている児童生徒や高校生や学生、若い世代のみなさんに寄り添っていく等、学校園での取り組みも大変重要です。様々な人が暮らす神戸の街、多様性が尊重される神戸市へとさらに進化していくために、庁内外の取り組みを進めてください。



～誰にも相談できずに、一人で悩んでいませんか？～
 神戸市
LGBTQ 電話相談
 毎月第2・4木曜日 / 17:00 ～ 20:00
 ☎ 078-322-5043

質疑したこと

- こども中心の施策について
- 墓園と斎場の今後について
- 不登校児童生徒の支援策について
- 神戸市におけるパートナーシップ制度について

◀ 本会議場にて質疑しました



神戸のこどもたちが、自分らしく生きていく支えになりたい！

市会議員として9年目の今。

教育こども委員会〔教育委員会・こども家庭局〕のメンバーとして学校や教育の課題、子育ての課題に日々取り組んでいます！

